# **MORIOKA** YMCA NEWS

#### 盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示 された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満 ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平 和な世界の実現を目指します。

- こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希 望、生きる力を育みます。
- 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
- 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と



発行人:濱塚有史 編集人:家村知佳 発行所:特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1 TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: http://www.ymcajapan.org/morioka/

#### 宮古フレンドシップサマーキャンプに行って」

専修大学人間科学部社会学科2年

大貫拓海 (ぴろりんリーダー) 神山幸大(ちょろりんリーダー)

は、インターネットで調べごとをしていたとき、たまたまこ…くさん見つけられました。 のサイトを見つけました。秋田県で子ども達と湖水浴、肝試 し、花火をするという企画を見て、行くことを即決しまし

も楽しいことの方が多くありました。それに、普段見落とし…はなく、奇跡のように思えました。それぞれの人がそれぞれ てしまっているたくさんの大切なものにも出会うことができ…の経緯を持ちキャンプに参加しているのですから、とてもす

私たちの周りにはたくさんの当たり前があります。しか…一つ一つが私たちを大きく成長させてくれました。 し、その当たり前の裏には、たくさんの大切なものが隠れて、出会いというものは、何気なく生活していると、なかなか は、それを作る裏方の頑張りがあったり、キャンプを行うた。てくれました。 めに事前に色々な準備をして下さった人達の存在であった

『宮古フレンドシップサマーキャンプリーダー募集』。私じり。今回のキャンプでは、そんな隠れている大切なものをた

普段起きていることを当たり前ではないと意識したとき、 そこに多くの事柄が強く関わっていることにも気がつきまし 今回のキャンプでは大変なこともありましたが、それよりにた。このキャンプで出会えた人達と関われたのは当たり前で ごいことです。この偶然では終わらせられない様々な出会い

います。例えば、子ども達が怪我しないように陰でリーダー…気が付くことのできないものかもしれません。潟分校で過ご が見守っていたり、私たちの前に用意されていた食事の裏に…した二泊三日間がそんな出会いの喜びや、大切さに気付かせ

## サッカー!山!湖畔!キャンプ尽くしの夏★

#### サッカーキャンプ

7月31日~8月3日の3泊4日、いこいの村いわてでサッカーキャ ンプを行って来ました。35名の子どもたちと7名のリーダー・ス タッフでにぎやかに楽しく過ごして来ました。

サッカーキャンプというだけあって、日中はサッカーの練習 を通してそれぞれ異なった学年の子どもたちと交流をし、ナイ トプログラムや朝の集いでは、ビーチバレーや新聞紙投げゲー ムなどサッカーとはまた一味違う楽しさを味わいました。

そして、サッカーキャンプといえば、何といっても「岩手山 カップ!!」リーダーと子どもたちがそれぞれチームに分か れ、優勝を目指して戦います。チーム名・ユニフォームも各 チームで考えるため、バラエティに富んでいます。最後には、 たくさんの笑顔と悔しがる顔がたくさん見られました。

参加したメンバー一人ひとりにとって有意義なキャンプにな りました。

文責 盛岡YMCAスタッフ 浅沼 慧

















8月6~8日の3日間、外山森林公園へ子ども22名、リーダー5 名、スタッフ1名の計28名で山のキャンプに行ってきました。

初日の空は生憎の雨模様。それぞれのテントの中で友だちとトラン プやゲーム、工作などをして過ごしました。2日目、3日目はお天気 にも恵まれたため、野球や虫取り、アスレチックや筋トレ(!?)な ど、テントの外で思いっきり遊んでくることが出来ました。

遊んでばかりではありません。今回のキャンプでは「自分のことは 自分でする!」。ご飯や寝袋、毛布の準備や片付け、テントの掃除も しっかりとみんなで協力して行いました。 みんなで作ったカレ はとっても美味しかったね!

解散時には溶けてしまいそうなくらいクタクタになっていた子もチ ラホラ。ですが、参加メンバー一人一人の楽しそうな笑顔、そして ちょっぴり頼もしくなった姿を見ることができた、とても素敵なキャ ンプでした

文責 盛岡大学栄養科学部2年 高橋ちひろ (ぷーリーダー)



#### 湖畔のキャンプ

8月8日~8月10日に秋田思い出の潟分校にて湖畔キャンプがありま した。1日目のフリータイムでは体育館でバドミントンをする子、学 校を探検する子、外の川で魚やカエル釣りをする子、水鉄砲でビシャ ビシャなっている子、みんな分校での楽しさを発見し楽しんでいまし た。夜は、キャンプ恒例のカレーライス作り。食事担当の作ってくれ たカレーをおいしく食べました。ナイトプログラムではYMCAキャンプ ディレクターの伊藤眞太郎(ひげたまごリーダー)が出したなぞなぞを 解き、校内に隠された宝を探しました。

キャンプ2日目。朝からジェスチャー鬼ごっこをしてみんな元気 いっぱい!!午前は田沢湖で湖水浴です。少し水温が低く、休憩をはさ みながら出したがみんな大はしゃぎでした!午後は各グループ毎に出 店を出して「お祭り」をしました。お好み焼き、フルーツポンチ、 チョコバナナ、ギャンブルなど、グループで話し合いながら決めたお 店を頑張って準備し、作り上げていました。

いよいよキャンプ最終日。午前午後ともにフリータイム。グループ の違うお友達と話したり、遊んだり、最後のフリータイムを満喫して いました。キャンプは最終日の通り雨を除いて快晴でした。これもみ んなのパワーがあったからです!暑い中での湖水浴や水遊びは気持ち 良かったですよ~☆

文責 盛岡大学栄養科学部2年 澤口 栞 (おたまリーダー)









## 盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 8月報告書

#### ○宮古の夏

今年の夏も宮古は暑い日が続きました。8月下旬以降はさすがに少しずつ秋めいた陽気となってきましたが、最高気温は平年に比べて高い日が多く、お盆を過ぎてもしばらくの間は厳しい残暑が続きました。仮設住宅などでのお振る舞いでは、カキ氷が大人気で、ひとりで何杯もおかわりするほどでした。7月下旬から8月は夏休みということもあって、宮古の町を元気づけようと、またたくさんの人が町を訪れて賑やかになるように、多くの地域の復興イベントやお祭りが実施されました。

7月28日(土)と29日(日)は、みやこ夏まつりが行われ、午後3時から9時までの間、多くの来場者がいらっしゃいました。28日の当日、YMCAは子ども百縁日のコーナーを担当いたしました。百縁日というだけあって、すべて100円で参加できるというものでしたが、事前に市内の保育園や幼稚園には大量の無料券が配られていたそうで、当日はたくさんの子どもたちがやってきました。輪なげ、金魚すくい、ヨーヨー釣り、おもちゃ釣りなどの各コーナーは、岩手大学の硬式野球部を中心としたボランティアの人たちにも運営をお手伝いいただいて、会場を大いに盛り上げていただきました。百縁日の終了時間は午後8時だったのですが、お祭りが楽しくて時間が経つのを忘れてしまいそうなくらい、子どもたちは楽しそうに参加していました。特に金魚すくいのコーナーでは、水槽に金魚がいなくなるまで、遅い時間まで続いていました。

8月に入っても、宮古市は地域の復興イベントやYMCAお振る舞いが続きました。8日(水)の大相撲復興支援プロジェクトin宮古、14日(火)の宮古花火大会、そして何よりも15日(水)と16日(木)はお盆休みを利用して、前センター長の池田勝一さんが宮古を再訪されて、2日間で合計4か所の仮設住宅で、ホットドッグとカキ氷のお振る舞いをしました。任期中の池田さんをよく知る地域の方々は、池田さんが再び訪ねてくることをとても楽しみにされていたようで、皆さんと再会された時は当時の話で盛り上がっていました。

大学や専門学校が夏休みの期間である9月中旬までは、サークルや学生YMCAのグループがほぼ1週間単位で毎週センターに滞在し、ボランティア活動に参加していただいています。2年目を迎えてボランティアの人数がだいぶ減ってきていましたので、とても助けられています。

夏休みが終わり、8月21日(火)からは、朝の交通整理とあいさつ運動が再スタートしています。これからも毎朝子どもたちの元気な笑顔に会えるのが楽しみです。

宮古ボランティアセンター長 大谷



まずはお相撲さんの行列が 出来ました。 ↓



金魚すくいのコーナーは夜まで 大盛況でした。 →

←かき氷おいしいですか? ホットドッグもどうぞ!

> ↓ 前センター長池田さん自ら お振る舞いです。







交通安全

↑ 満員御礼ならぬ完売御礼です。 売り上げは東日本大震災復興 支援募金です。 宮古での活動実績

(8月末日のべ人数) 数 35,201人

☆受益者数 35,201人 ☆ボランティア数 12,125人

← 小川で魚とり



ー みんなで協力して食器洗い

← B級グルメ調理中



仲良し! ハイ、チーズ☆ ↓







#### ○宮古サマーフレンドシップキャンプ

8月5日(月)から7日(水)、秋田県の田沢湖畔でサマーフレンドシップを行いました。

昨年から三菱商事株式会社の協賛でフレンドシップスキーキャンプが実施され、夏版としてサマーキャンプがスタートしました。東日本大震災で仮設住宅での生活をし、いつもの遊び場や学校の行程仮設住宅になり、

「しっかり遊ぶ」ことが困難になっている子どもたちも多くいます。そのような子を勇気づけ、思いっきり遊び、遊びエネルギーを発散してほしいとの願いで計画されました。

まぶしく暑い1日目、貸切観光バスで現地に到着すると、それぞれの好きな遊びを満喫します。小川に入り魚すくったり、水鉄砲、笹舟、虫とり、枝ブランコ、サッカー…。グループ以外の仲間とも友達になれました。満喫して遊ぶ子どもたちは満たされた表情でいきいきしていました。それぞれグループで作った旗がそよ風にたなびいて気持ちよさそうでした。

初日の夜、木造の校舎だけあって「肝だめし」はスリル満点!キャーキャーと校舎中響きました。大きな声を出してなかなかスッキリしたようです。ゴールの運動場では夜の涼しい風が吹き、星空がきれいに見えていました。

二日目。予定していた田沢湖での湖水浴は残念ながら雨で3日目になりました。グループで「田沢湖B級グルメ選手権」を行い、グループでメニューや材料の相談をし、夜にはおいしいごちそうがならびました。そして夜はスタンツ大会は大盛り上がり。出しものは自由でクイズや劇を考えて発表し、グループのチームワークがまとまりました。笑い声と笑顔いっぱいの一日でした。

最終日、待ちに待った湖水浴。少し風があり肌寒かったのですが、キャンプの最後にふさわしい楽しいものでした。

2泊3日という短い期間ではありましたが、友だちやリーダーとの生活を通して多くを感じ、学びがあったことと思います。最後の夜にキャンプの終わりがさびしくて涙を流した子もいるほどでした。

キャンプに協賛していただいた三菱商事株式会社様をはじめ、潟分校の皆さま、全国から集まってくれたYMCAリーダーやボランティアみなさん、そしてお子さまを送り出してくださった保護者の皆さまにお礼申し上げます。このキャンプがみんなの大きな夏の思い出になればと願います。

宮古ボランティアセンター 木田

### 7月サンデースクール「手作りアイスクリーム」★

7月29日(日)に7月サンデースクールを前潟センターにて行いました。今回は「手作 り★アイスクリーム」です。参加者は、子供7名にリーダー5名の計13名でした。アイス の作り方はシンプルで、材料を全て混ぜ合わせ、氷の入ったボウルにつけてかき混ぜながら 冷やし固めるという方法で行いました。子どもたちは、材料の分量が人数分になるよう考え て、作る工夫してみたり、材料の味を確かめてみたり、混ぜるのに疲れてきたら交代したり 励まし合ったり・・・楽しみながら、そして協力しながらアイス作りを進めていました。

張った分、アイスが固まってくると、皆嬉しそうな表 情で報告してくれました。味も美味しく作ることがで き、おかわり続出! やはり、みんなで料理をする と、より楽しく、よりおいしくなりますね!!

次回は9月30日(日)前潟センター(ぷらいむ・ たいむ前潟校)にて「ブーメラン作り」を行いま す!!皆さんの参加を待ってます☆

文責:盛岡大学4年 高橋みどり(ダダリーダー)



## こぼれ種20 「知ること、責任をとること」

日本基督教団内丸教会牧師(元日本YMCA同盟 中原 真澄

最近、「責任をとる」という言葉を新聞などでよく見た り、聞いたりしました。「責任をとる」って何だろう・・・そう 考えたことはありますか?一般的には、自分の行為(もしく

は行為しないこと)がある結果を惹き起こし、それが人やモノに被害を及ぼした場 合, もとの状態に戻し, 与えた被害を償い, 誠意をもって謝罪する・・・大体はこん なことと思います。でも、そうした責任の取り方がそもそも出来ない事態が予想さ れる場合、私たちはどうしたらよいのだろうか。昨年来、私たちはこうした課題に 直面しているのだろうと思います。

こうした課題を考える時、私たちに最も大切なことは「知る」ことです。知って 初めて私たちは、最善ではなくても、少なくとも最悪な事態を避ける方法を選び 取っていくことが出来ます。「知らない」ことはそのまま、責任逃れの<罪>と言 えるでしょう。

そして「知る」者は、知ったことに比例して責任を果たすことが求められます。 それは,小さな事から始まり,徐々に大きな責任へつながっていきます。日本で は、こうした「知る」こと、それに比例する責任の取り方の訓練(=市民教育の大 切な働き)が疎かにされているように思えてなりません。「知らな~~い!」で済 ませ、結果への責任は誰かに任せてしまう・・・そんな無責任を日常的に増長させて しまってはいないでしょうか。

YMCA活動は、様々な場面で子どもたち/ボランティアリーダーに、「知る」こ と、それに伴う「責任」の在り方を教育する活動でもあります。だからこそく失敗 する権利>を集う子ども達に保障するのです。子どもが市民へ成長するための知識 と体験を得る権利を、YMCAは常に大切にしていきたいと思います。

人の子よ、わたしはあなたを…見張りとした。あなたが、わたしの口から言葉を 聞いたなら,わたしの警告を彼らに伝えねばならない。・・・あなたが悪人に警告 し、彼らがその道から離れるように語らないなら…血の責任をわたしはお前の手に 求める。(エゼキエル書33章7~8節)

次金 下 花 伊 今藤熊 健男、大学子、 伊川及吉藤守川崎 真田茂陽 郎

水及松

工藤是石桂 大関 幸孝子、 一真、千葉 具、及川茂夫 田村治之、 赤野聖賢次、 木野聖賢次、 京崎野聖子、 京崎野聖子、

川工

名古屋恒彦、四スト教会宮古教へ 教会、日本キリスト 傾浜西YMCA、松尾聡? ノスト 阿会 表 (下教団浦安教会 教本 イキリ Щ 教団 田 京子、 Ź  $\vdash$ **以スミ子、** 丁、佐々木 畄 藤 吾店 団 日 月

き

木 本

山大

012年 月 2 5 日 順不 同

## ベスト・キッズメンバー 大募集中!

こんにちは、ひげたまごこと盛岡YMCAス タッフの伊藤眞太郎です。みなさん、日頃のサッ カースクール楽しんでいますか?みなさんの一生 懸命にボールを追いかける姿はどのサッカース ールでもとっても輝いていることと思います!

YMCAには対外試合に出場する「ベスト・ キッズ」という小学1年生から6年生までのチ ムがあります。週に3回、各サッカースクールか らもっとサッカーをしたい・うまくなりたいと いった子どもたちが集まり、基本的な練習から中 学・高校へとつながる練習まで、それぞれのレベ ルに応じて活動しています。また、「試合で負け ても人間で勝つ!技術で負けても心で勝つ!」「自 分たちのサッカーをして思いっきり楽しむ!」とい うことを大切にし、各大会で勝利を目指して一生 懸命に努力を積み重ね、自分の「変化」を実感し 楽しめるよう頑張っています。

9月には6年生最後の外での大会「セーラー カップ」や5年生以下の「新人戦」が控えていま す。今までの一人一人の努力の成果を十分に発揮 できる大会になればと思います。みなさん応援よ ろしくお願いします。また、サッカーが好きであ り、うまくなりたい!試合に出たい!という気持 ちがあれば誰でもベスト・キッズのメンバーにな れます。もっともっとサッカーが上手くなりた

い、サッカーを頑張りたい! というみんな、ぜひ練習に参 加しに来てください。愉快な 仲間たちと一緒にみんなのこ とを待っています!



## ・表紙の写直より~



8月5日~7日に行われた宮古サマーフレンド シップキャンプ初日の写真。

分校脇の小川に子どももリーダーも跳び込み、魚を ゲット!川魚に歓声を上げる子どもたち!その後、 びしょ濡れのまま笹舟作りをしたときの1枚です。

## 9月の予定

☆9月8日(土)

宮古ボランティアセンターアドベンチャ

☆9月8日(土)

(於:宮古野外活動センター) ワイスメンズ第一例会 (於:アイーナ団体活動室)

☆9月20日(木)

ワイズメンズ東日本区大会実行委員会 (於:アイーナ団体活動室)

☆9月22日(十)~23日(日)

9月アドベンチャー「秋の味覚でパーティ (於:八幡平県民の森)